



NP0法人 「認証者数 9/1現在 286人」

茨城県防災士会 だより

発行日：2022年9月25日

発行元 特定非営利活動法人

茨城県防災士会

責任者 理事長

加瀬 孝雄

令和4年度第3回理事会報告（8月6日実施）

第3回理事会が8月6日（土）に開催されました。以下の内容の議事が行われました。

（日時・会場）2022年8月6日（土） 13：00～・水戸市桜川市民センターからZoom会議に変更実施

（参加者）理事会メンバー出席者：9名・オブザーバー出席者：3名

（以下議事次第）

I. 理事長挨拶・報告等

II. 議題（議長：加瀬理事長）

1. 理事会議事録署名人について

2. 令和4年度 茨城県防災士会 組織体制

3. 外部関係

（1）日本防災士会から

（2）茨城県 防災・危機管理課より「いばらき防災大学開講！が9/23, 10/8, 1/15日に水戸市で開催

4. 各部報告事項

（1）総務部 会員数報告

（2）広報機関紙部 ホームページ運用ガイドライン（案）について
「広報第37号」の発行予定

（3）経理部 令和4年度 各種講演会等活動状況について

令和4年度 7/25現在、年会費納入状況について

（4）事務局 令和4年度 管理事業 実施状況について

令和4年度 事業について

（5）企画研修部 令和4年度 各種講演会等活動実施報告

（6）女性部 令和4年度「女性部研修企画（案）」について

5. 新規会員・退会の承認について

（1）令和4年6月4日現在、承認会員数：284名

（2）新規会員；4名、退会者；2名

6. その他

7. 令和4年度 第4回理事会 水戸市桜川市民センターにて 10/1開催予定

（午前10時：理事会、午後1時30分：講師認定試験7名受験）



再掲 救命講習の実施へ（会員増対策）

いばらき防災大学講座終了後は、防災会入会者が多く見受けられたが、昨年度は皆無であった。この要因は、大学講座から「救命講習」が除外されたことで、講習会修了後も資格取得が出来ないことであった。これを踏まえ、令和4年度防災大学講座からも同様な措置が見込まれることで、当防災士会としてその対応策を講じることを決めた。

具体策として、水戸地区救急普及協会の会員となり、水戸市周辺にて「救命講習」を開催して、防災大学受講の防災士資格の確保に向け準備を進める。

（2022年2月26日理事会、承認事項）

いばらき防災大学開校 水戸会場

いばらき防災大学の開校通知を受け、当防災士会の担当分野として、10月8日「気象庁ワークショップ」と、10月15日「防災士の役割」講演を担当へ。気象庁ワークショップの実施には補助要員必要につき講義補助の応援要請を行うので、対応方願いたい。



（企画・研修部）

左；2019年7月
鹿嶋会場風景
2019年から本
ワークショップ
が始まり、当
防災士会参加。

ホームページのご活用を！

<https://i-bousaishi.jp>

対 外 活 動 (各 地 の 講 演 会 等) 記 録

令和4年度第1回県北エリア会議

<県北エリア会議 災害時のトイレについて>

実施団体：茨城県防災士会県北エリア
開催場所：常陸太田市水府総合センター
開催日時：令和4年7月17日
担当防災士等：県北エリア防災士15名
内容：令和4年度第1回県北エリア会議



- ①茨城県防災士会の活動報告
- ②災害時のトイレについて
 - ・簡易トイレの使用方法について(各家庭の排せつ物の量を知る)
 - ・固形パウダー、シートの使用方法(それぞれの特徴)・簡易トイレの種類と使い方
- ③ 会員の活動状況 ・村木防災士から町内の「防災かわらばん」の紹介

令和4年度現代的課題対策講座(第3回)

<要配慮者救出について協議、グループ発表>

実施団体：茨城県県西生涯学習センター
開催場所：同上(筑西市野殿1371)
開催日時：令和4年7月30日
担当防災士等：県西地区防災士4名
内容：シミュレーションで防災を学ぼう



- ①DIG(災害図上訓練)の第一段階について講話
「災害図上訓練の目的と手法について」
- ②DIGの第二段階(身近な災害対策を考える)を体験学習
5グループに分かれて「災害発生時要配慮者の救出」について最優先順位を決める体験学習③グループ内のまとめ 「自助」「近助」「共助」についてグループ毎発表

親子で学ぶ防災教室

<DVD視聴視聴と解説、防災クラフト>

実施団体：茨城県県西生涯学習センター
開催場所：同上(筑西市野殿1371)
開催日時：令和4年8月7日
担当防災士等：県西地区防災士3名
内容：親子で学ぶ防災教室



小学校高学年の親子10組(20名)が参加し、親子で防災について学んだ。防災士会で所有するDVDを視聴し、自ら身を守る大切さを伝えた。また、身近なもので作ることができる防災クラフトを実施し、非常時の創意工夫について伝えるとともに、日常から防災を考える大切さを伝えた

令和4年度第1回県南エリア会議

<オンライン会議との並行開催>

実施団体：茨城県防災士会県南エリア
開催場所：つくばカピオ及びZoomにてオンライン会議
開催日時：令和4年8月27日
担当防災士等：会場参加9名、オンラインWeb参加4名
内容：令和4年度第1回エリア会議
総会及び理事会からの報告(組織体制について)
小野川小学校防災教室(7/5実施)の報告
その他、会員からの情報提供



今 後 の 各 種 講 演 会 の 予 定

開催予定日	要請団体等	講演内容	開催予定日	要請団体等	講演内容
10月8日	茨城県防災・危機管理課	令和4年度 茨城県ぼうさい大学	11月2日	茨城県社会福祉協会	避難所運営ゲーム訓練
10月15日			11月20日	八千代町中央公民館	ふれあい教室(令和4年度女性学級11月定例学習)
10月30日	古河市消防防災課	地域自治組織を対象としたDIG訓練	11月27日	下妻市消防交通課	下妻市消防訓練

*今後の各種講演会へ参加希望の方は、当該エリア長にお申し出ください。

9月1日は
防災の日

情報収集、早めの行動

避難時のポイント



避難するときは、夜間は避け、明るいうちに行動する。単独ではなく二人以上での避難が望ましい。

リュックサック

荷物は両手が使え
ようリュックサックに入
れる。浮き具になる。

かさや杖

かさや杖があると障害物をよけたり、足元を確認できたりする。

服装

動きやすい服装に着替える。

—長靴よりスニーカー—

水が入って歩きにくくなるので長靴は履かない。履きなれたスニーカーなどの動きやすい靴で移動する。

水の中を歩くのは思っている以上に体力を消耗する。流れがあると足元をすくわれやすい。染谷さんは「高齢者は体力を過信しないこと」とアドバイスする。

水位が上昇するなど避難が難しい場合は、2階以上や少しでも高い、安全な場

所に避難する（垂直避難）。

新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される中、分散避難が推奨されている。避難所の密集を避け、安全が確保されている知人や親類の家、民間宿泊施設などの利用も考える。

非常用持ち出し袋を用意しよう

日頃から非常用持ち出し袋を用意しておきたい。日ごろ使っている財布や携帯電話、家・車のカギなどともに持ち出そう。ミルクやほ乳瓶、紙おむつなど、乳幼児や高齢者など家族や個人の事情に合わせて準備する。災害や期間によっても変わるが、いざというときにまず持ち出したい主なものは次の通り。



■食料品

飲料水・非常食

飲料水のペットボトルは2本より200%増4本と小分けの方が飲みやすく衛生的。

■生活用品

タオル・ウェットティッシュ・マスク・
ティシュペーパー・手指消毒用アルコール・
口腔ケア用品・生理用品・着替え・
救急医薬品・体温計・持病の薬・お薬手
帳のコピー・懐中電灯・ごみ袋・雨がっ
ぱ・軍手など

■貴重品

現金(小銭も用意)・通帳・印鑑・健康保険証のコピーなど

☐ 情報収集に使う

携帯ラジオ・携帯電話・充電器・モバイルバッテリー・乾電池・筆記用品など

■その他

防災ずきん・ヘルメット・使い捨てカイロ(冬)・冷却シート(夏)・ヘルメット・簡易トイレなど

緊急時の備え

リアルタイム 地震などの突発的な災害に比べ、インターネットやテレビ、ラジオから情報を収集し、大間や台風の情報は事前には状況を抑えておける。気象庁や国土交通省、県や市町村などのが災害気象情報を発信しており、インターネットでは雨雲の動きや河川の水位の上昇などのリアルタイムで分かる。情報を基に、簡単に備えることが被害の防止に繋がることになる。

大間や強風の前には、

平常時の備え

防災避難計画 ハザードマップ

平常時の備え

雨、雪の被害や洪水などの水害は、河川や湖沼、雨水による。排水口や側溝、雨どいは物やごみが塞がらないようにする。風で飛ばされやすいものは固定するか家の中しなものを。室内から窓ガラスが飛散防止フィルムを貼る。

自宅に避難する場合は予定日・食料・寝具、災害用通話器具、財布、水、簡易トイレなどを準備する。

ハザードマップを使用し、台風等の発生や接近したとき、事前の対策のために備えて、市町村で防災避難計画（マシヤム・ライン）を作り、避難のタイミングや避難場所などを家族と話し合っておく。

防災士に

聞<

氾濫
市街地でも浸水の可能性

茨城県防災士会副会長エリア長
 の染谷正明さんに水害の心構え
 や避難のポイントなどについて
 聞いた。染谷さんは情報収集を
 怠らず、自分のことは自分で守
 る自助の意識を持って、早め
 の行動を呼びかける。隣近所の方
 にも声を掛け、早めの避難を呼
 びかけてほしいと訴える。

水害から命を守る

避難促す根拠に活用



訪田中の染谷正明さん

地域の
防災

流域雨量指数

そのため、大雨警報が出て、水害はないと安心して避難しない人が一定数いる。特に高齢者が目立つ。そういう人たちが目立って避難させるのが課題」と話す。「年々河川改修や堤防整備が進み、川の状況も変わってきている。これまで被害がなかったからと言って、次も大丈夫とは限らないと『正常バイアス』を指摘する。

高まる。そこで気象庁の「流域・雨量指数」の活用を誘った。川の上流域に「洪水危険度が高まるかを把握する指標。洪水警報や「洪水キキクル」に用いられる」。過去の経験だけでなく、「過去を総括し、初めて把握する」と説明した「17日版」。

エリア通 信（エリアの動き等）

県北	会員数 37 名 エリア長 福地 壽之	県南東	会員数 37 名 エリア長 澤田 孝一
日立市、常陸太田市、常陸大宮市、北茨城市、高萩市		龍ヶ崎市、鹿嶋市、稲敷市、神栖市、潮来市、行方市	
太子町		銚田市、利根町、河内町	
県央	会員数 63 名 エリア長 染谷 吉明	県南	会員数 46 名 エリア長 長屋 和宏
水戸市、ひたちなか市、那珂市、笠間市、小美玉市		つくば市、つくばみらい市、守谷市、取手市	
茨城町、大洗町、城里町、東海村			
県南央	会員数 49 名 エリア長 松井 秀夫	県西	会員数 54 名 エリア長 矢野 靖彦
土浦市、牛久市、かすみがうら市、石岡市		結城市、筑西市、桜川市、下妻市、常総市、坂東市	
阿見町、美浦村			